

1989年 ナースバンクにおける求人・求職条件調査

～希望労働条件のミスマッチ～

調査の目的及び方法

(1) 調査目的

ナースバンクにおける求人条件と就業希望条件、ならびに就業斡旋が成立した者についての就業条件等を把握し、今後のナースバンク事業推進に役立てることを目的とする。

(2) 調査対象および調査方法

以下の3種の調査を企画し、東京・愛知・大阪・福岡の4ナースバンクの協力を得てこれを実施した。

A：求職調査

B：就業調査

C：求人調査

各調査ごとに調査対象および調査方法についてのべる。

A：求職調査

調査対象：調査期間内に各ナースバンクに新たに求職者として登録手続きをした者。

調査方法：求職登録のためナースバンクに来所した就業希望者に調査票を渡し、その場で記入してもらう。来所できない就業希望者には調査票を郵送し、求職登録のための書類とともに各ナースバンクへ返送してもらう。

B：就業調査

調査対象：調査期間内に各ナースバンクの斡旋により就業が決定した者。就業開始が調査期間終了後に予定される者についても、決定が調査期間内であればこれを対象とする。ただし、10日以下の短期就業はのぞく。

調査方法：就業斡旋を受けたものにあらかじめ調査票と返信用封筒を渡し、採用が決定ししだい、本人が記入のうえ各ナースバンクへ返送してもらう。または、採用が決定したことが判明した者に調査票を送付し、記入後返送してもらう。当該ナースバンクごとに、このいずれかの方法をとることとする。

C：求人調査

調査対象：調査期間内に求人の新規申し込みをした施設、および調査期間内に登録の継続手続きを行った施設。うち、10日以下の短期求人である東京の9施設は、今回の報告から除く。

調査方法：各ナースバンクの求人申込（登録）票より、ナースバンク担当者が調査票に記入

する。調査期間内の斡旋状況および採用決定状況については、調査期間終了後にナースバンク担当者が該当欄に記入する。

(3) 調査期間

1989（平成元）年10月～12月。

(4) 回収状況

求職調査・求人調査については、調査対象の全数の回収（各530票，619票）を得た。就業調査の各地区ごとの回収状況は、以下による。

東 京：

斡旋時に調査票を渡し、記入・返送を依頼。対象者数46人，回収総数45票。

愛 知：

就業決定者に調査票を送付。対象者数56人，回収総数22票。

大 阪：

就業決定者に調査票を送付。対象者数68人，回収総数64票。

福 岡：

就業決定者に調査票を送付。対象者数42人，回収総数42票。

(5) 調査の担当

調査の企画・調査票の設計は、日本看護協会調査研究室（岩下清子・菊池令子・奥村元子）が行った。

調査票の配布・回収・第一次チェックは、各ナースバンクが担当した。

調査の第二次チェック，調査結果の集計ならびに分析，報告書の作成は、日本看護協会調査研究室が担当した。